

公共交通・国スポ・障スポ大会対策特別委員会 県外行政調査

1 調査日 令和5年10月19日（木）～20日（金）

2 調査の概要

(1) 10月19日（木）

○東広島市議会（広島県東広島市）

広島県東広島市は、同市の総合交通戦略にバス専用レーン設置などBRTの導入案を盛り込み、広島大学およびJR西日本と連携し、自動運転の技術を活用して人が運転しているバスに運転者不在の2台のバスが連なって運行する実証実験等を進めている。

本委員会は、地域公共交通維持のための取組を重点調査項目としており、人口減少を見据えた公共交通維持の手法の一つとして、本県施策の参考とするため、同市の取組について調査を行った。



○みらい株式会社（広島県広島市）

みらい株式会社は、スポーツ庁の「Sport in Life」プロジェクトの参画企業として認定されており、捕る、投げる、走る、掴むといった基本的な動作を中心に、楽しく体を動かしながら運動量を確保するプログラムを実施する等、子どもの体力、運動能力向上のための取組を行っている。

本委員会は、国スポ・障スポ大会開催にかかる選手育成を重点調査項目としており、将来を見据えた子どもの体力、運動能力向上の取組等について本県施策の参考とするため、同社の取組について調査を行った。



(2) 10月20日(金)

○広島県議会(広島県広島市)

広島県は、令和2年4月1日に広島版スポーツコミッションである「スポーツアクティベーションひろしま」を設置し、地域におけるスポーツ資源を活用した取組を支援している。

本委員会は、国スポ・障スポ大会開催にかかる運営を重点調査項目としており、地域のスポーツ資源の活用や県民のスポーツに対する機運醸成等について、本県施策の参考とするため、同県の取組について調査を行った。

